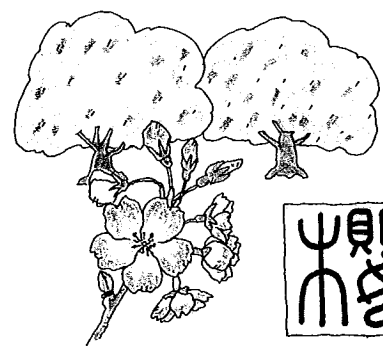


桜

【5年】
オウ
さくら

10画
木 木 木 桜 桜 桜

【なりたち】 旧字体は櫻。明は見て作った首飾り。女子の首飾りの意味の嬰と木との会意形声字。首飾りの玉のような実のなる「桜桃」を表した字。わが国では「さくら」の意味に用いる。



【おん】 キ
つくえ

【いみとじゆく】
▼桜桃。ゆすらうめ。ばら科。春、梅に似た花が咲き、紅色の小さな実がなる。
▼桜。ばら科。春、淡紅色の花が咲く。
桜花：桜の花。
観桜：桜の花を観賞すること。花見。【例】観桜会
山桜：①山に咲く桜。②桜の一種。若葉と一緒に花が咲く。
八重桜：山桜の変種。八重咲きの濃い色の花が、他の種類よりやや遅れて咲く。
葉桜：花が散って若葉が出始めた頃(三)の桜。
夜桜：夜、観賞する桜。
桜色：桜の花の色。淡紅色。
桜紙：薄い柔らかなちり紙。
桜湯：桜漬けに湯をさした飲み物。祝いの席でお茶の代わりに飲む。

机

【6年】

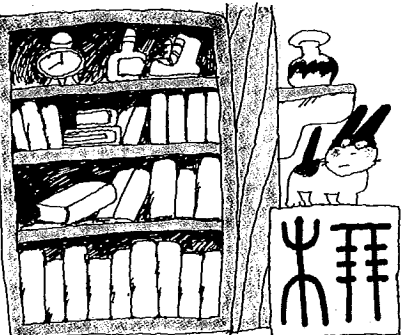
6画
一 十 才 木 机

【なりたち】 椅子(才)や物を載せる台の形をかたどった凡と木との会意形声字。家具などの用材となる木の名を表した字。檣(机)に似た木。「机木」という。今は「凡(つくえ)」の意味に使う。



【いみとじゆく】
▼机。机下：手紙で、相手を敬って、あて名の左脇(せり)に添える言葉。
机上：机の上。【用例】机上の空論。(実際の役に立たない観念的な理論。)
【よみかた】 机辺・経机

机棚



【なりたち】 旧字体は棚。具にひもを通して下げた「対」の飾りを表した朋(机)と、木との会意形声字。「木を組んで対に作られた物」を表した字。物を載せる「たな」のこと。

棚

【おん】 たな

12画
一 才 初 棚 棚 棚

【なりたち】 旧字体は棚。具にひもを通して下げた「対」の飾りを表した朋(机)と、木との会意形声字。「木を組んで対に作られた物」を表した字。物を載せる「たな」のこと。

【いみとじゆく】
▼棚。棚のような形をした物。
書棚：本棚。本を入れる棚。
食器棚：食器を入れておく棚。
陳列棚：人に見せる品物を並べておく棚。
戸棚：物を入れておく、戸の付いた棚。
大陸棚：大陸の周囲にある、傾斜のゆるやかな、割合浅い(二〇〇メートル位までの)海底。
棚上げ：①商品をしまい込んで市場へ出さずにおくこと。
②問題を一時そのままにしておいて、解決や処理を後に延ばすこと。【用例】議論してもまとまらないので、提案は棚上げにします。
棚卸し：①決算や整理のため、残った商品の数や金額を調べること。②他人の欠点を数え立てて悪く言うこと。

柳

【おん】 リユウ
やなぎ

9画
一 才 木 柳 柳 柳

【なりたち】 本字は柳。流の意を仮借(か)した卯(卯とは列字)と、木との形声字。水の流れを思わせる「やなぎ」の木を表した字。卯が卯と形が似ているため、柳が柳になった。



【いみとじゆく】
▼柳。柳のように細くしなやか。柳系：柳の枝。細く垂れた柳の枝を糸にたとえたもの。
柳条：柳の枝。「条」は細い筋。
柳色：柳の葉の青々とした色。
柳腰：柳の枝のように細くてしなやかな腰。美人の腰。
川柳：五・七・五の十七音からなる、滑稽(こ)・風刺を旨とする短詩。柄井川柳が評者だったことから。